

【ピンクリボン】

乳がん征圧月間に高知城など県内各地でピンクライトアップを実施します

日本人女性の9人に1人がかかるとされる乳がんの早期発見と早期治療を啓発するため、10月の「乳がん征圧月間」(ピンクリボン運動)に高知城など県内各地の建物をピンク色にライトアップします。

1 ライトアップ実施日

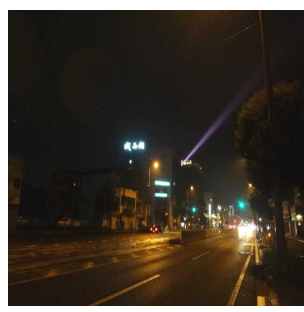
令和7年10月1日(水)～10月2日(木) 両日とも18時(日没後)～22時

2 ライトアップ場所

高知城、城西館、ヤ・シパーク、ラ・ヴィータ、海洋堂スペースファクトリーなんこく、宿毛市役所、中土佐町役場



<高知城>



<城西館>



<ヤ・シパーク>



<ラ・ヴィータ>



<海洋堂スペースファクトリーなんこく>



<宿毛市役所(市章)>



<中土佐町役場>

3 ライトアップの協力経緯

高知県では、株式会社高知銀行、東京海上日動火災保険株式会社と、「高知県がん検診受診率向上プロジェクト」協定書を締結し、その取組の一貫で両社がライトアップ可能な施設に協議し、ピンクライトアップを実施しています。また、昨年度に引き続き、趣旨に賛同した南国市(海洋堂スペースファクトリーなんこく)、宿毛市(市役所)、中土佐町(町役場)でもピンクライトアップが行われます。

4 乳がんの状況

全国的に乳がんにかかる人や、乳がんで亡くなる人は急速な増加傾向にあります。高知県でも同様で、県内の女性に最も多いがんが乳がんです。30歳代から増え始め、40～50歳代が罹患のピークになっています。初期の頃は自覚症状がほとんどありませんが、そのまま放置していると全身に広がります。しかし、早期に発見することができれば、乳房温存療法が可能で、治療後もQOLを下げることなく生活が可能です。がん検診はがんの早期発見に有効な手段であることから、県や市町村は、40歳以上の女性に対し、2年に1回の定期的ながん検診の受診の重要性を啓発しています。

